

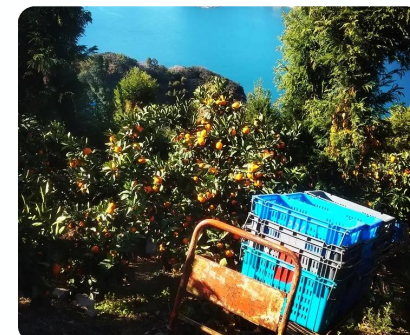
「かっこいい農業」の実現！

株式会社この果樹園 代表 河野徹



兄二人が上京 代々続く農業を継承する決意

河野徹さんは代々続く農家の5代目。中学生の時に家族の農業を継承することを決意し、農業高校、農業大学校へ進学。学校で幅広い知識を身につけてきたことから、「農業は儲かる！」ということを変更して認識。「かっこいい農業の実現には安定的な収入が不可欠」という思いから、代々継承してきた農業にはまだまだビジネスチャンスがあると考え、家族や仲間と協力して新たな取組みを積極的に導入し日々経営の改善・向上に努めてきたとのこと。



果樹園から眺める美しい宇和島の景色

安定的な収入、通年雇用の実現 法人化への道のり

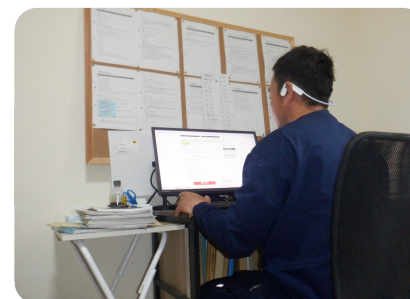
一般的な柑橘農業の課題は、隔年結果によって収量が多い年と少ない年があること、収穫時期が超繁忙期となるため雇用形態に安定性が欠如していることがあると筆者は考える。河野徹さんは、まさにこの部分にメスを入れ、隔年結果が起ころづらいうような栽培管理を徹底し、改植することによって作業時期を分散させてきた。安定的な収入が確保されたことで社員を通年雇用することが可能となり、社員の育成にも力を入れることができているとのこと。



この果樹園の社員の皆様

これから新規就農を目指す方へ

季節ごとに異なる柑橘の香りや果実の成長を見ると幸せを感じます。農業という職業は、単なる「作業」になってはならず、「つくる」ということに対して楽しみや誇りを見出すことが重要だと思います。自分の経営に楽しみや誇りを見出すことが、農家としてのスキルアップ、経営の改善には重要だと思いますので、農業という分野の奥深さを勉強して楽しんでください。



就農希望者の情報を確認する河野代表

農家になったきっかけ	中学生の時に農家になることを決意「かっこいい農業」の実現を目指す！
栽培品種	温州みかん、伊予柑、ポンカン、河内晩柑、レモンなど10種以上
栽培面積	約7ha（東京ドーム2個分くらい）
農業歴	約30年